



第 16-5 号 2004 年米銀主要トピックス
-シカゴ銀行コンファレンスより-

毎年 5 月にシカゴ連邦準備銀行の主催による大規模な銀行コンファレンスが開催されます。このコンファレンスは、監督官庁、学者および銀行界から数百人もの人が集まり、その時の銀行に関する主要な問題点等について発表したり、議論する場となっています。今年 5 月 6 日～7 日に開催された同コンファレンスのうち、主要なトピックスをご紹介します。

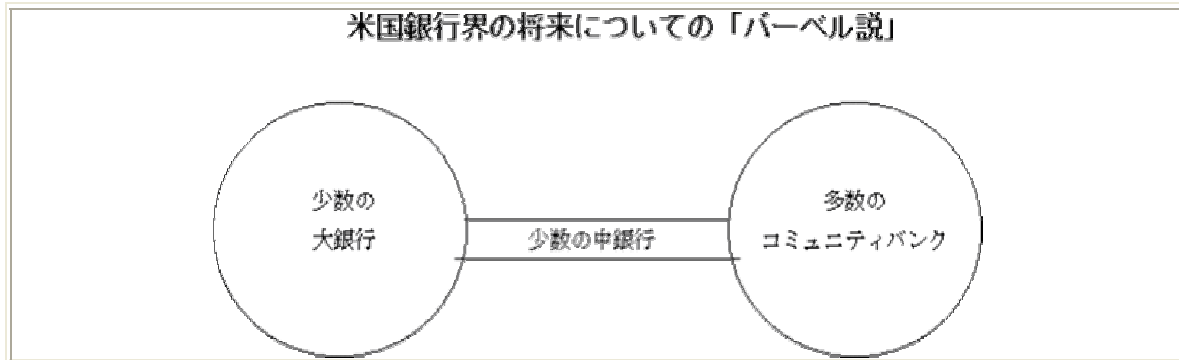
1. 銀行の合併

銀行の合併については、このコラムでも[バンクオブアメリカ・フリート \(15-9号\)](#)、[チェース・バンクワン \(15-14号\)](#)、および[ノースフォーク・グリーンポイント \(15-17号\)](#)にてご紹介していますとおり、ここ数ヶ月間のうちに大型の銀行合併が続いています。つい先日の 5 月 4 日にも、米国北東部の有力地方銀行であるシチズン銀行が、中西部の有力地銀であるチャーター・ワン銀行を買収する旨発表したばかりです。銀行の合併については、次のような見解・意見が示されました。

- ・以前はコストカットが合併の目的だったのに対し、最近の米銀の合併の特徴としては、地理的マーケットを広げることによる収入面の増加を通じた利益の成長、がポイント。(ナブリサーチ社ナンシーブッシュ氏)
- ・特定の顧客にフォーカスしてハイレベルのサービスを提供するタイプの銀行よりも、広い顧客層に対して低コストのサービスを提供するタイプの銀行の場合に、合併が成功しやすい。シチズン銀行とチャーターワン銀行はこの低コストタイプなので注目に値する。(ノバンタス社ピーター・デイビス氏)
- ・一般に、中小企業向け貸付は、小さなコミュニティバンク銀行が得意であるが、小さなコミュニティバンクが大銀行に買収されたり合併で大きくなった場合は、その銀行自体は中小企業向け貸付を減らしていったとしても、他のコミュニティバンクなどが代わりに中小企業向け貸付を行うこと、また合併にともない新たにコミュニティバンクが新設されることが多いことから、全体としてみれば銀行合併の中小企業向け貸付に対する影響は少ない(インディアナ大学ウデル博士)

このほか、米銀界は少数のメガバンクと、多数の小さな優良コミュニティバ

ンクが将来的に繁栄し、中規模銀行はどちらかの端に寄って行くだろうという「（重量挙げの）バーベル説」（両端が大きく、中が細い）など、様々な意見がありました。



シカゴ郊外にあったコミュニティバンクのアドバンス銀行（左）は昨年買収されてチャーターワン銀行になったばかり（右）。今回のシチズン銀行による買収でまた看板が変わるのでしょうか？¹

¹ 買収発表時の記者会見によると、シカゴ近辺の銀行名をどうするかは現時点では未定。

2. GSE 問題

主に住宅ローン債権の証券化業務を行っているフレディマックおよびファニーメイの2社は通称GSE (Government Sponsored Enterprises : 政府支援機関)と呼ばれています。昨年、フレディマック社のデリバティブの会計処理に関して疑惑が発生し、大きな問題となりました。この両社は民間の株式会社でありながら、政府機関並みの信用力があり、低コストでの資金調達が可能となっています。また、現時点で両社の信用力は依然として高い状況にあるものの、規模が大きいのにもかかわらず預金保険等のセーフティネットがないだけに万一破綻等があった場合の財政、社会経済への影響が甚大であることから、GSEのあり方がこのコンファレンスでも大きなトピックの一つとなりました²。財務省のスノー長官は、銀行並みの強力な監督機関の設置が必要と述べましたが、かかる改革法案が議会で可決されるかどうかは依然不透明な状況です。

3. 銀行のビジネスモデル

米国には、様々なタイプの銀行があります。タイプにより、戦略や考え方も異なります。次のような意見がありました。

- ・ 大銀行代表：銀行は大きいほど、規模と範囲の経済が発揮できるのでよい。
- ・ 小銀行代表：リレーションシップバンキングにとって、支店拡大による成長は自己否定につながる。それぞれの組織は小さなほうがよい。
- ・ インターネット銀行代表：銀行のサービスは画一的なのでインターネットは絶好のツール
- ・ 中堅銀行代表：顧客が求めているのは、画一的なサービスではなく、フェイストゥフェイスのサービス

銀行や経営者によりそれぞれ考え方はありますが、つまり成功する方法は一つではなく、何通りも考えられる、というのが米国式と言ってよいと思います。

(文責：ニューヨーク駐在シニアアナリスト 青木 武)

[戻る](#)

(文中意見にわたる部分は筆者の個人的意見であり、必ずしも信金中央金庫の見解を反映させたものではありません。本レポートは、掲載時点における情報提供を目的としています。したがって施策実施・投資等についてはご自身の判断によってください。また、本稿は、執筆者が信頼できると考える各種データ等に基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。)

² 2002 年末の総資産でいうと、フレディは 7,5 億ドル、ファニーは 8,900 億ドル。ちなみに、シティグループは 11,000 億ドル。つまり、2つのは資産規模でいうと 100 兆円のメガバンク並み。